

Zoom
講演会

冬期講演会

上伊那英語教育・外国語活動研究会 主催

A Soft CLIL Approach for English Classes in Junior High School

講演要旨

本講演では、内容言語統合型学習（CLIL: Content and Language Integrated learning）の考え方を紹介しつつ、それを中学校英語授業でいかに活用していただけるかについてお話ししたいと思います。具体的には、検定教科書を使って、参加者の方々にペアワーク等を交えて参加してもらいながら、生徒になったつもりで体験的にCLILの授業を感じ、また考えていただければと思っています。

「一般の方の参加も歓迎します。中学校の英語教育がめざしているところを感じていただけたらと思います。」

和泉 伸一 氏

プロフィール

上智大学外国語学部英語学科・言語科学大学院教授。南イリノイ大学カーボンデール校 M.A. 取得（応用言語学）、ジョージタウン大学 Ph.D. 取得（言語学博士）。南イリノイ大学東アジア言語文化学科日本語講師、ジョージタウン大学言語学科講師、ハワイ大学マノア校客員研究員、オークランド大学（ニュージーランド）客員研究員を経て現職。専門は第二言語習得研究と英語教育。



開催
日時

R5 2/19 日
13:00~15:00

定員
80名

申込
方法

専用申し込みフォームから

（下記アドレス、または QR コードからお申し込みください
受付後、当日の参加 URL をメールにてお送りいたします）



<https://2023kesg.reset.net>

※注意事項

- ・本講演会はビデオ会議ツール「Zoom」を利用して開催いたします。ご出席予定のご環境で「Zoom」が使用可能であることを事前にご確認ください。
- ・開催時間は通信の状況等により前後する場合があります。
- ・定員になり次第締切となります。

和泉伸一氏 代表的な著書など

- ・Soft CLIL and English language teaching: Understanding Japanese policy, practice and implications (共著、2022年、Routledge)
- ・『第2言語習得と母語習得から「言葉の学び」を考える～より良い英語学習と英語教育へのヒント～』（2016年、アルク）
- ・『フォーカス・オン・フォームとCLILの英語授業』（2016年、アルク）
- ・『「フォーカス・オン・フォーム」を取り入れた新しい英語教育』（2009年、大修館）
- ・『CLIL（内容言語統合型学習）：上智大学外国語教育の新たな挑戦—第1巻 原理と方法、第2巻 実践と応用、第3巻 授業と教材』（共著、2011年、2012年、2016年、上智大学出版）

○中学校用英語検定教科書『New Horizon: English Course 1, 2, 3』（東京書籍）編集代表委員 ○高等学校用英語検定教科書『Enrich Learning 1, 2, 3』（東京書籍）編集代表 ○日本英語検定協会「研究助成制度」選考委員 ○東京都英語村（Tokyo Global Gateway）企画運営委員会副委員長 ○Action Research Center for Language Education (ARCLE) 理事（ベネッセ教育総合研究所 英語教育研究会） ○上智英語教育研究会（Association of Sophian Teachers of English: ASTE）事務局長なども務める

令和4年度 上伊那外国語活動・英語教育研究会冬期講演会

日 時： 令和5年2月19日（日）

会 場： オンライン（配信本部：春富中学校）

主 催： 上伊那外国語活動・英語教育研究会

講 師： 和泉 伸一 先生

演 題： A Soft CLIL Approach for English Classes in Junior High School

本年度の冬期講演会は、昨年度に引き続きオンライン形式による講演会となりました。

"A Soft CLIL Approach for English Classes in Junior High School"をテーマに、上智大学外国語学部英語学科・言語科学大学院教授の和泉伸一先生に講師をお願いし、各参加者の皆様にはZoomによる配信を視聴していただきました。

中学3年生用の教科書を用いて、参加者がCLIL(Content and Language Integrated Learning)を実際に体験しながら学ぶ、たいへん有意義な時間となりました。

ご参加いただいた先生方、ありがとうございました。